お知らせ

十一月例会

・期日　立教180年11月25日
・時間　学生担当者大会終了後
・場所　第二食堂

学生層育成者講習会日程・会場案内

【教区】

・北海道　11月4日14時～　教務支庁
・千葉　11月4日13時30分～　教務支庁

【直属】

・嶽東　11月20日12時～　大教会
・上之郷　11月21日12時～　大教会
・白羽　11月23日12時～　大教会
・淀　11月23日12時20分～　分教会
・伊野　11月25日16時～　詰所

報告

九月例会

去る9月25日、12母屋3階講堂に於いて「九月例会」を開催。出席は44教区、125直属。

各地の動き

【教区学生層育成者講習会】

・山口　9月3日　教務支庁　57名
・中根　9月14日　大教会　31名

【直属学生層育成者講習会】

葛西委員出向
渡部委員出向

人事

【直属学生担当委員長辞令交付】

《立教180年9月25日付》

・板山眞一（本愛・本濱松）

業務記録

《立教180年9月16日～10月15日》

9月19日　事務局連絡会
21日　『Happist』梱包
22日　『Happist』発送
24日　研修会チーム会議
出版部部会
25日　委員会
教区担当者懇談会
例会
広報室会議
26日　まなびばチーム会議
10月2日　学生連絡会
5日　学生部部会
6日　学修部部会
7日　学修大学の部研究室会議
まなびば研究室会議
要員育成室会議
担当者活動部部会
人材育成部部会
8日　委員会
学修高校卒業生コース
研究室会議
ビデオチーム会議
9日　出版部部会
10日　春の学生おぢばがえり
プロジェクト会議

TSM
http://tsa.tenrikyo.or.jp

GAKUSEI TANTOSHAHO
学生担当者報 11
Vol.368
発行／天理教学生担当委員会　発行責任者／松村孝吉　編集責任者／福江弘一
[TEL]0743-63-1511（内線 5817）（直通）0743-63-2489　[FAX]0743-62-5780
[E-Mail]tsa@tenrikyo.or.jp　[TSA website]http://tsa.tenrikyo.or.jp
立教180年
平成29年10月25日発行

道の将来を担う学生のために



庶務会計部兼人材育成部　委員
松山　勇一

「道の将来を担う若者に、共に道を歩む仲間を、一人でも多く得てほしい。」学生を対象とする、どの行事においても根底に流れる思いである。「学生生徒修養会　高校卒業生コース」の開設や、「学生生徒修養会　高校の部」における、回生別から学年別への体制の移行にもこれが表れている。

さて、私自身も学生時代には、天理教学生会の常任委員会（現在は運営委員会に改編）の一員として学生会活動に携わり、多くの仲間・友人を得ることができた。学生時代に共に、同じ目標に向けて歩んだ友との思い出は、年月が経っても色褪せることはない。

先日、学生会時代の友人と、久しぶりに再会する機会に、幾度か恵まれた。

一つには、後継者講習会の受講を機に、数年ぶりのおぢばがえりを果たした同級生を中心に、数名が集まった。現在は住む地域も、日々の勤めも全く異なるお互いである。にも関わらず、お互いの近況報告や、昔の思い出話に花を咲かせる中に、不思議と「明日からも頑張ろう」、「これからもしっかりとお道を通ろう」と、それぞれが「勇み」を得ることができた。やはり離れていても、共に道を歩む仲間は、お互いを勇ませ合うことのできる、かけがえのない存在であることを実感した。

また一つには、共に学生会活動を行なった同級生と十六、七年ぶりに、おぢばから遠く離れた地で再会する機会があった。彼との話題の中心の一つは、当時の学生担当委員会の先生方との思い出話であった。

多くの方にお世話になり、様々なことを教えていただきながら、今日まで歩んできたことを改めてふりかえった。「果たして今の自分は、学生時代にお世話になった先生方の姿に近づけているのだろうか?」と自問しているところに、私の心を見透かすように、彼が問いかけた。「お前は、俺たちが○○先生や△△先生にしてもらったように、今の学生や若い子を背中で導けているのか?」と。

共に活動した仲間から、学生担当者としての務めを改めて教えてもらった。

「道の将来を担う若者が、共に歩む仲間を得ることができるように。」

「こんな信仰者になりたいと、学生や若者に思ってもらえるように。」

これが、学生会で育てていただいた私の御恩報じの一つと信じて歩んでいきたい。

立教180年 学生担当委員会 活動方針 『誠の心で人材の育成につとめよう』

道の学生ひのきしんＤＡＹ　開催報告

広げよう！　感謝、喜び、思いやり

十月一日、「広げよう！　感謝、喜び、思いやり」をスローガンに「道の学生ひのきしんＤＡＹ」が開催され、一千七名の学生が参加しました。（十月十六日現在）

○岐阜教区学生会

岐阜教区学生会では、八名の学生がひのきしんに参加しました。

「ひのきしんＤＡＹ」当日、ＪＲ岐阜駅に集合した学生たちは、駅から柳ヶ瀬商店街までの区間を二手に分かれて、ゴミ拾いの清掃ひのきしんを行いました。学生たちは晴天の御守護のもと、笑顔を絶やすことなく、勇んでひのきしんに取り組み、一人ずつ持ち歩いたゴミ袋が、いっぱいになるほどのゴミを拾い集めました。

また、ひのきしん終了後は担当者も交えて鍋を囲み、学生同士の親睦を深めました。

最後には、今後の学生会活動への参加を呼びかけ、今回の「ひのきしんＤＡＹ」で繋がった仲間との再会を誓い合いました。

今回の「ひのきしんＤＡＹ」を通して、岐阜教区学生会の和やかな雰囲気と、ひのきしんに真剣に取り組む姿勢をひしひしと感じる一日となりました。

○福岡教区学生会

福岡教区学生会では、福岡教務支庁を会場に四十八名の学生がひのきしんに参加しました。

最初は緊張していた学生も、ウォーミングアップを行っていくうちに次第に笑顔がみられるようになりました。午前中は教務支庁近くの福浜海岸へ行き、班に分かれて清掃ひのきしんを行いました。海岸には、浜へ流れ着いたものや捨てられたものなど様々なゴミがありましたが、ひのきしんを終える頃には海岸が見違えるほど綺麗になりました。

午後からは教務支庁でスタッフを中心に、参加した学生全員が楽しめるレクリエーションを行い、笑顔が絶えることのない楽しい時間を過ごすことができました。

今回の「ひのきしんＤＡＹ」を通して、普段あたりまえに感じていることのありがたさや、道の仲間との充実した時間を味わえた一日となりました。



立教180年　道の学生ひのきしんＤＡＹ
参加人数集計

10/16 現在

教区	参加人数	教区	参加人数
おやさと	116	富山	中止
奈良	107	新潟	22
京都	29	岡山	20
大阪	96	広島	35
兵庫	36	鳥取	4
滋賀	8	山口	26
和歌山	46	島根	4
三重	54	大分	11
静岡	11	福岡	44
愛知	38	長崎	8
岐阜	8	鹿児島	10月22日開催
長野	中止	熊本	6
香川	7	宮崎	4
徳島	8	佐賀	11
高知	6	沖縄	3
愛媛	8	北海道	27
山梨	2	福島	2
東京	32	宮城	14
千葉	14	山形	4
埼玉	42	岩手	10月29日開催
群馬	25	青森	0
栃木	11月13日開催	秋田	4
神奈川	27	オセアニア出張所	9
茨城	6	タスマン布教所	3
福井	3	シドニー東濃布教所	8
石川	9	合計	1007

立教百八十年　教区担当者懇談会　開催報告

去る九月二十五日、四十一教区から六十七名の参加者が集まり、第十二母屋に於いて教区担当者懇談会を開催した。

まず、開講式にて松村委員長は「我々学担は、学生会の活動をサポートする役割がある一方で、学生を教祖の道具衆として育てる、導くという役割があると聞かせていただいている。ただ、これをどこまで介入していって、どこまでサポートで終わらせるかという線引きが非常に難しいと思う。その中で我々学担として学生を導く気持ちを出して行える活動、行事というものとして、現在は高校生の集い「まなびば」を提示している。平成十四年に、現在の「まなびば」の形で始めたので、今年で十六年になる。課題も多く、先輩方も悩みながらずっと進めてくださっていた行事であり、ようやく形が整っているようなところかと思う。本日の懇談会はそうした「まなびば」ということを改めて話し合い、ディスカッションをする場を設けさせていただいた」と挨拶した。

引き続き、担当者活動部・葛西部長より、今回、まなびばの現状を知るために全教区を対象に実施した「まなびばに関するアンケート」の特筆すべき点をまとめ、プロジェクターを用いて発表した。その後、松井亮平さん（岡山教区まなびば担当者）より活動発表が行われ、「学生に声をかけるのはもちろん、参加した学生にも声がけに動いてもらうことに力を入れている。そのために学生との距離を密にしていくことを怠らないよう努めている。しかしながら、重要な点は学生担当委員の志であり、とにかく参加した高校生には、一つでもお道の素晴らしさを味わってもらい、胸に治めて帰ってもらえるよう努力をしている」と述べ、さらに、「常時の会活動、教会回り、会員回りを続けていくところに、学生会、担当委員会の力がついてくる」と発表を締めくくった。



活動発表後は、十三のグループに分かれてねりあいを行い、今後の「まなびば」に対し、より具体的な動員を進めるために、相互の意見交換を積極的に行い、更なる活動の推進を誓い合った。

また、例会後に第十二母屋食堂で懇親会を行い、親睦を深めた。

北陸ブロック大学生の集い Work & Talk 2017 開催報告

九月十六日から十七日にかけて、石川教務支庁を会場に「北陸ブロック Work & Talk 2017 in 石川」が開催され、八名の学生が参加しました。

一日目は、ウォーミングアップや自己紹介などで緊張をほぐした後、「お言葉カルタ」を行い、楽しみながらも、お道の教えに触れることができました。

二日目は輪島分教会を拠点に神名流しを行い、教会長、青年会の方々と共ににをいがけに歩きました。今回は「輪島朝市」という有名な観光地でのににをいがけを実施し、人通りの多い中で、最初は緊張し恥ずかしがっていた学生も、徐々に熱が入り、大きな声で勇んでつとめました。台風接近のため中止が危ぶまれましたが、プログラム中は天気にも恵まれ、無事につとめることができました。

参加した学生達は、二日間を通して同世代のお道の仲間と出会い、絆を深め、来年もまた「Work & Talk」で会うことを誓い合いました。

「まなびば」開催会場一覧　《１１月開催分》

教区	開催日時	場所	担当者	連絡先
神奈川	11月3日9時～4日14時	神奈川県立 愛川ふれあいの村	横田	
宮城	11月11日13時～12日15時	教務支庁	山本	

☆実施計画書は２ヵ月前までにご提出ください。

Happist 12月号　予告

［特集］ジャパーん!?

連載

・教理コーナー
お道の？を一緒に考えよう！　田邊 大治（此花大教会長）

・輝く生き方見つけよう
Key Person　平井 伸治（鳥取県知事）

・信仰エッセー
明日の地図ひろげて　高橋 太志（祝梅分教会長）

・人生を彩る1冊をあなたに。
虹色のしおり　澤井 一郎（敷土分教会長・天理教校本科研究過程講師）

・漫画
ココロtravel　ニシカワ ヨウコ

明日につながる学生マガジン Happist12

個人宅に直接〈Happist〉が届く個人購読も行っております。詳細は学生担当委員会事務局までお問い合わせください。

※内容は一部変更になる場合があります。

「立教181年　春の学生おぢばがえり」

開催要項

【趣　　旨】　道につながる学生が、一人でも多くの仲間と共におぢばに帰り集い、学生にくださる真柱様のお言葉を心に治め、日々の生活を通る上での指針とする。さらに、をやの思いを求め、共に道の次代を担うようぼくへと成人していくことを誓い合う場とする。

【ｽﾛｰｶﾞﾝ】　次代を担うようぼくへ

【期　　日】　立教181年（平成30年）3月28日（水）

【内　　容】　○式典　午前10時　本部中庭
「真柱様お言葉」
○直属アワー　　式典後より午後4時まで
○別席
※27日に「前夜祭」（夕づとめ後～午後9時頃）を行います。

【参加対象】　高校生（新1年生を含む）、大学生、短期大学生、専門学校生、大学院生等

【主　　催】　春の学生おぢばがえり実行委員会
天理教学生担当委員会

〒632-0035
奈良県天理市守目堂町213-4　おやさとやかた真南棟3階
Tel　0743-63-1511　内線 5820（天理教学生会）
Tel　0743-63-2489（天理教学生担当委員会事務局）

おせち　立教181年　学生ひのきしん隊

募集要項

大学生用

対　　象　大学生、大学院生、短大生、専門学校生で全期間参加できる者
期　　間　立教181年1月4日（木）～7日（日）
受　　付　1月4日12時30分（時間厳守）
本部第38母屋
※学生証提示のこと
※昼食を済ませて集合のこと
解　　散　1月7日16時頃 本部北2駐車場
宿　　泊　本部第38母屋
参 加 費　2,000円（教区・直属学生担当委員会にお納めください）
内　　容　ひのきしん（給仕・会場誘導・その他）、学生ひのきしん隊の運営他
申込方法　教区・直属学生担当委員会に、参加費・返信用封筒（12月23日以降に受け取れる住所、氏名、郵便番号を記入し、82円切手を貼付のこと）を添えて申込んでください。
12月26日以降にキャンセルされた場合、参加費は戻りませんのでご了承ください。

※保護者の承諾書、健康調査カード（後日郵送）に必要事項を記入の上、必ず受付時にご提出ください。

申込締切　12月15日 天理教学生担当委員会事務局必着
※申込書に【世話班・大学生班】のいずれかを選択してご記入ください。なお世話班、大学生班班長を勤めていただく方には後日、本部学生担当委員会より連絡します。又、直前研修会に参加していただきます。

《直前研修会のご案内》
日　　時：1月4日9時（集合・受付）時間厳守
場　　所：本部第38母屋
研修内容：ひのきしん内容、世話班・大学生班班長の役割について

高校生用

対　　象　高校生で全期間参加できる者
期　　間　立教181年1月4日（木）～7日（日）
受　　付　1月4日14時30分（時間厳守）
本部第38母屋
※生徒証提示のこと
解　　散　1月7日16時頃 本部北2駐車場
宿　　泊　本部第38母屋
参 加 費　2,000円（教区・直属学生担当委員会にお納めください）
内　　容　ひのきしん（給仕・会場誘導・その他）、別席、親睦行事他
申込方法　教区・直属学生担当委員会に、参加費・返信用封筒（住所、保護者氏名、郵便番号を記入し、82円切手を貼付のこと）を添えて申込んでください。
12月26日以降にキャンセルされた場合、参加費は戻りませんのでご了承ください。

※病院受診についての同意書、健康調査カード（後日郵送）に必要事項を記入の上、必ず受付時にご提出ください。

申込締切　12月15日 天理教学生担当委員会事務局必着

◆参加するにあたっての注意事項◆

◎期間中に別席を運ぶ方は席札を持参してください。尚、初めて別席を運ぶ方は願書などが必要となりますので教会と相談の上、必ず『別席のしおり』の「お誓いの言葉」を覚えてくるようにしてください。
◎団体行動ですので、飲食物及び、ポータブルオーディオ、ゲーム等は持ち込まないでください（差し入れもできません）。
◎ひのきしん中のスマートフォン・携帯電話の使用はご遠慮ください。

学生担当者大会のご案内

日々は学生層育成の上にご丹精いただき、誠にありがとうございます。
さて、来る11月25日、学生担当者の総会ともいうべき「学生担当者大会」を下記の通り開催いたします。本年は、表統領 中田善亮先生よりご講話をいただきます。
教務ご多忙の折とは存じますが、教区・直属の主だった方、支部担当者の参加はもちろんのこと、学生生徒修養会スタッフなど、広く学生層育成に携わる方々にも何卒お声がけくださいますよう、ご案内申し上げます。

記

日　時　11月25日（土）13:00開始　**（受付12:30～）**

会　場　第二食堂

対　象　教区・直属担当委員長、委員、支部担当者、
学生層育成に携わる者

内　容　表統領 中田善亮先生ご講話
委員長挨拶
ビデオ上映
引き続き、11月例会

※会場周辺は大変混雑いたしますので、車でのご来場はご遠慮ください。
引き続き例会がございますので、ご参加ください。

青空

おぢばがえりをさせていただいた時、詰所の中で、若い修養科生から、とびっきりの笑顔で声を掛けられた。「どこの教会の修養科生だろう」と思いながら顔を見ると、何となく見覚えのある顔だった。

すると彼から、学生会の話をし始めたので、自分が学担の時の学生だと合点がいった。数分間、学生会の思い出話をさせていただいて、別れ際に、私は任期を終えて学担のご用から離れていることを話すと、彼は「じゃ、俺たちが一番良い時期の学生だったんですね」と言ってくれた。

彼にしてみれば、他の時期と比べようもないと思えるので、彼自身の学生会活動がとても良かったんだなと思わせていただき、とても嬉しい気持ちになった。

また、彼が学生を終えても、その後の丹精をいただいて修養科へと歩みを進め、とびっきりの笑顔のごとく、修養科生として勇んでおぢばに伏せ込んでいることも嬉しく思い「今日は何て良い日だ」と喜び心をいただいた。

本理世学生担当委員会　前委員長　市川桂司

立教181年　学生生徒修養会 高校卒業生コース

高校卒業生が進学や就職などそれぞれの道へと進むこの時期に、親神様の御教え、教祖のひながたを学び、同世代の繋がりを深めることは、その後の信仰生活の上で有意義なことです。
卒業後、どのような環境においても、おぢば、教会に繋がり、教えを拠り所とした生活を送ることができるよう、以下の要項で学生生徒修養会 高校卒業生コースを開催いたします。

募集要項

【名　　称】　立教181年　学生生徒修養会 高校卒業生コース
【主　　催】　天理教教会本部
【事 務 局】　天理教学生担当委員会
【期　　間】　平成30年3月10日（土）～12日（月）［2泊3日］
【受講対象】　①平成29年度高等学校卒業予定者
※卒業後の進路は問いません。
※天理高等学校第Ⅰ部、第Ⅱ部、天理教校学園高等学校の卒業予定者も受講可能です。
②全期間を通して受講できる者。
【定　　員】　400名
【受講御供】　3,000円
【内　　容】　講話、ねりあい、グループワーク、お楽しみ行事など
【集合日時】　3月10日（土）午前9時～9時30分
【解散日時】　3月12日（月）午後2時頃
【申込方法】　以下の書類を整え、最上級教会長を経て、学生担当委員会事務局に申し込んでください。
・受講願書　　1通
・返信用封筒　1枚
（保護者氏名、住所、郵便番号を記入し、82円切手を貼付ください。）
【申込期間】　平成29年11月25日（土）～平成30年1月31日（水）
定員になり次第締め切らせていただきます。

※受講にあたっての詳細及び必要事項は、書面にて1月15日以降、随時保護者宛に郵送いたします。
※本人の意思を確認の上、お申し込みください。
※受講願書は学生担当委員会にあります。必要部数コピーしてご利用ください。
Websiteでもダウンロードできます。　http://tsa.tenrikyo.or.jp

http://tsa.tenrikyo.or.jp

問い合わせ先

天理市守目堂町213－4　おやさとやかた真南棟3階　学生担当委員会事務局
［郵便］〒632－8790　天理郵便局私書箱1号
［電話］　0743－63－2489　（学生担当委員会事務局直通）／　［FAX］　0743－62－5780

立教180年
「育成に役立つ研修会」募集要項

日々は学生層育成の上にご丹精くださり誠にありがとうございます。

この度、下記の通り「育成に役立つ研修会」を開催いたします。本研修会は、人材育成に役立つプログラムについて、現場のニーズに即して学べる内容になっております。なお、本年は一泊二日にて開催いたします。各教区、直属において学生層育成に関わる方はもちろんのこと、この機会に婦人会、青年会、少年会に携わる皆様にも幅広くお声がけいただき、道の将来を担う人材の育成・丹精の一助としてご活用ください。

記

◎　日　　時　　立教180年11月27日（月）～ 28日（火）
　　集合：27日　9時00分　第7.8.9母屋
　　解散：28日　16時00分　第7.8.9母屋

◎　会　　場　　第7.8.9母屋

◎　定　　員　　150名

◎　受 講 費　　2,500円

◎　携 行 品　　・ハッピ、保険証、その他合宿で必要なもの
　　・女性の方はズボン着用でご集合ください。

◎　注意事項　　・研修会の性質上、遅刻・早退を含め変則的な受講はご遠慮ください。

◎　コース内容

◆プログラム体験コース
ねらい：学生層育成行事で使用しているプログラムの有効性を体験するとともに、その心得を学ぶ。
内　容：プログラムの体験、講義
こんな方におすすめ …
・新たに学生層育成に携わる方。
・学生とのコミュニケーションの取り方を学びたい方。
・学生が学修やまなびば、その他学生層育成行事でどんなことを体感しているのか知りたい方。

◆プログラムサポートコース
ねらい：各種育成行事のプログラムに役立つウォーミングアップや様々なエクササイズの習得。
内　容：ウォーミングアップ、エクササイズの体験及び解説、講義
こんな方におすすめ …
・直属アワーやその他の学生層育成行事、また各会の育成行事（あらきとうりよう入門塾、こかん様に続く会など）のプログラムの一コマに活用できるウォーミングアップやエクササイズを学びたい方。

◆プログラミングコース
ねらい：各種育成行事の企画、立案、プログラム作成、運営について学び、行事開催の意識を高める。
内　容：エクササイズ体験、プログラム構成の模擬実践及び解説、講義
こんな方におすすめ …
・教区、直属において各種育成行事を企画、運営される方。
・プログラムの組立てについて学びたい方。

◎　申し込み
・申込用紙に受講費を添え、学生担当委員会事務局までお申し込みください。
・11月17日（金）締め切り（定員になり次第締め切ります）。
・キャンセルの場合、必ずご連絡ください。11月25日以降のキャンセルについては受講費の返却はできませんのでご了承ください。